

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しら たか 広報

みんなで進める省エネルギーのために②
国民年金からのお知らせ⑥
平成17年度白鷹町主要河川水質調査結果⑧
パブリックコメント⑩
固定資産税の課税について⑩
快適な冬を過ごすために⑪
雪中サッカー子供大会参加チーム募集⑫
この冬も白鷹町営スキー場がおもしろい！⑬
主任児童委員のご紹介⑮

12.12
DEC 2005
NO.934



鷹匠と鷹—全国鷹狩り実演会 in 白鷹（白鷹町協働のまちづくり推進事業の対象事業）
11月13日、荒砥小学校を会場に、鷹狩り実演会が開かれました。伝統文化を通じ、希少動物などへの理解を深めてもらおうと町内有志の皆さんが企画。地元の五十嵐悟さんを始め7人の実演者が「渡り」や「振り鳩」などを披露し、その技と鷹の勇壮な舞いに、来場者からは大きな拍手が送られました。また、天然のオオタカが近くを舞うというハプニングもありました。

みんなが進める

省エネルギーのために

―白鷹町省エネルギービジョンに

ご意見をお寄せください―

今年度町では、白鷹町省エネルギービジョン策定等事業に取り組んでいます。

「省エネルギービジョン」とは、行政も町民も一丸となって省エネルギーを進めるための「行動指針」あるいは「行動計画」です。

各種調査や検討、計画書の作成までを、NEDO（ネド）独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の補助を受けて事業を実施しています。現在までの検討状況などをお知らせし、町民の皆さまからもご意見をいただきながら、今年度末までに計画づくりを完了させ、平成18年度から本格的に取り組んでいきたいと考えています。

◆ビジョン策定の背景

深刻な地球の温暖化

現在、地球規模で一番深刻な問題として挙げられるのが「地球の温暖化」です。

大気中の温室効果ガス（主に二酸化炭素）が増えたことにより、地球が「厚着」をした状態となって起こるこの現象は、人間の活動に起因するものです。地球規模の気候変動をもたらす、水循環、植生や動物の生態、農業など、多くの自然環境への影響が懸念されています。

数年前、よく耳にした「エルニーニョ現象」や、つい最近ではアメリカに大きな被害をもたらしたハリケーン「カトリーナ」も地球温暖化が原

因ではないかと言われています。

この温室効果ガスの「厚着」を止めるためには、従来使ってきた化石燃料の使用を減らし、1990年の大気の状態に戻すことが必要だと考えられています。1997年12月にこの温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」が採択され、今年2月に世界161カ国の参加により、発効しました。温室効果ガス排出量を1990年に比べて6%削減するという目標を掲げた日本も、クール・ビズやウォーム・ビズなどさまざまな対応をしていますが、一層の努力が求められています。

限りある資源

一方で、エネルギー資源の限界も叫ばれています。

現在の経済ベースに見合う形で化石燃料の可採量は下表のように言われています。

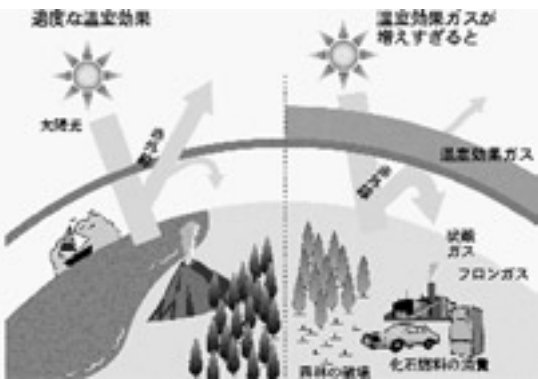
●世界のエネルギー資源埋蔵量

資源名	可採年数
石油	41年
天然ガス	67.1年
石炭	192年
ウラン	85年

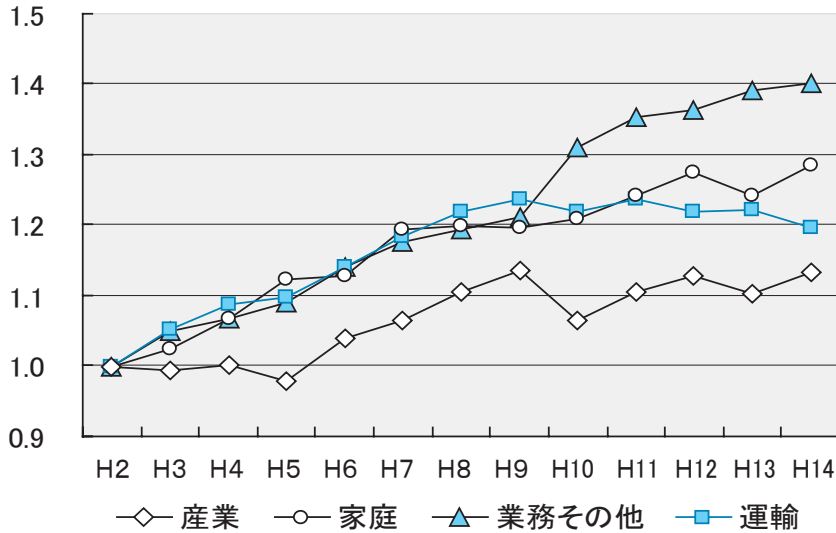
日本国内で使用されるエネルギーの約8割は海外に依存している状況であり、特に原油になると輸入量の9割弱を中東地域に依存しています。原油の可採年数は41年と予想されており、未来の子供たちのためにもエネルギーの使い方工夫（省エネルギー）と石油代替エネルギー（新エネルギー）太陽光や風力による発電、太陽熱や地熱利用、バイオマス利用など）の利用が急務となっています。

伸びているエネルギー消費

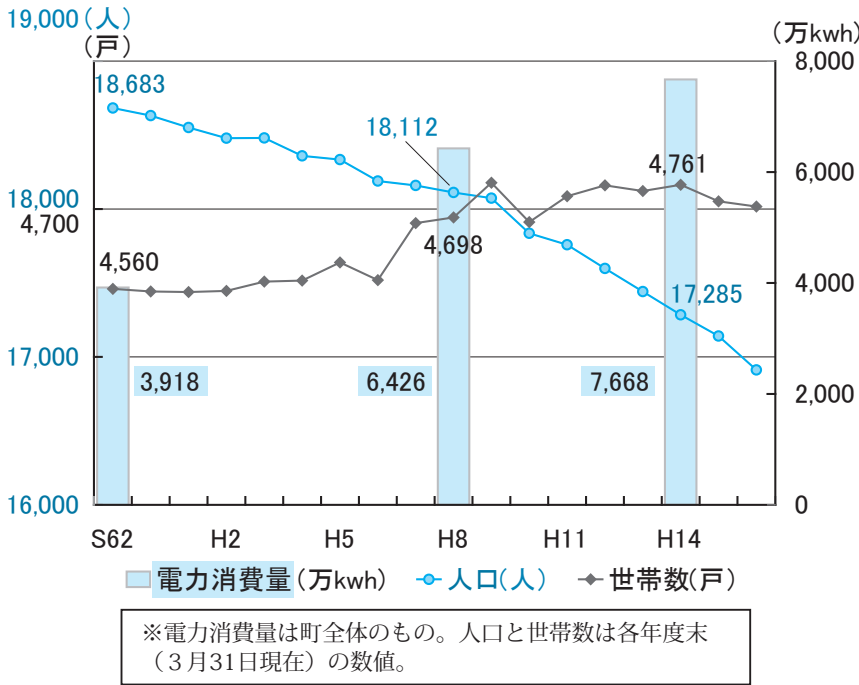
グラフ（A）は国全体の平成2年を指標とした部門別エネルギーの伸び率を表したも



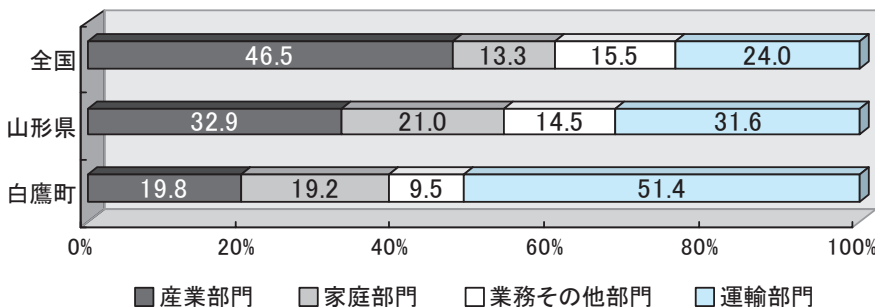
グラフ (A) 部門別エネルギーの伸び率 (全国)



グラフ (B) 白鷹町の人口と世帯数及び電力消費量の推移



グラフ (C) 部門別エネルギー消費比率



出所: 県のデータは山形県省エネルギービジョン(平成17年2月)
国のデータは総合エネルギー統計(平成15年度版)

です。いずれの部門も伸びていますが、特に家庭部門と業務部門(自治体を含む事務所や商店)のエネルギー消費量の伸びが大きくなっていることがわかります。

グラフ(B)は、当町の人口と世帯数及び電力消費量の推移を表したものです。少子化などの影響から人口は年々減少を続けている一方

で、電力消費量は増えていきます。平成14年の電力消費量は昭和62年のおよそ2倍にも増えています。

また、核家族化の進行などにより世帯数は徐々に増加しています。これも電力消費量の増加の一因と考えられますが、いずれにしても1人当たりの電力消費量が増加していることがわかります。

また、グラフ(C)は部門別のエネルギー消費比率を表したものです。町の比率を県の比率と比べた場合、産業、業務その他部門の割合は少なくなっていますが、家庭部門ではほぼ同レベル、運輸部門(自家用車も含まれる自動車関係)は突出しており、エネルギー使用量の半分以上をも占めています。これは、白鷹

町の1世帯当たりの自動車保有台数が2・84台と都市部の2・38台と比較して多くなっていることが要因と考えられます。自動車台数が増加すれば、ガソリンや軽油などの燃料消費も増加し、そのことが運輸部門でのエネルギー消費の比率を押し上げているものと考えられます。

ここでは電気やガソリンを

取り上げましたが、ほかにも石油やガスといったエネルギーがあり、その消費量も同様に増加していることが推測できるのではないのでしょうか。

◆ビジョン策定の目的

町では、平成12年度に白鷹町環境基本条例を制定し、平成14年度には白鷹町環境基本計画を策定しました。恵み豊かな美しいしらたかを次世代に継承していくことを目的に策定した計画を省エネルギーという分野から補完していくこと、また、地球規模の課題である温室効果ガスの削減行動を白鷹町から進める第一歩とするため、ビジョンの策定に取り組むものです。

また、省エネルギーはそれぞれの主体が「環境にやさしい活動を行う」ことで、今すぐにも取り組めるものです。一方では、コスト削減効果や新たなビジネスチャンスにつながる可能性も秘めており、地域産業振興への期待や、地域が連携して行うことによる地域活性化も期待されます。

以上のことから、町の特性を活かした省エネルギー推進のための基本方針を定めるとともに、産業、民生、運輸、公共、教育の各部門における重点プロジェクトを設定し、実行に移していくために策定するものです。

◆白鷹町省エネルギービジョン策定委員会

省エネルギービジョン策定に当たっては、公募委員3名をはじめとする18人の策定委員で検討を行っています。策定委員長には、東北芸術工科大学助教で、先日の環境シンポジウムの講師となられた三浦秀一先生をお願いし、できるだけ多くのかたに参画していただける方法、地域づくりやまちづくりにもつながる白鷹町らしい省エネルギープロジェクトを検討中です。

◆省エネルギー推進の基本理念と基本方針

町の基幹計画である第4次総合計画では、町の将来像を「人・自然ともにきらめき、心豊かな美しい郷」と定め、また、計画期間の10年は「自然・文化を生かし地域が輝く町」を目標に掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。さらに平成16年4月1日からは、まちづくりの基本原則となる「白鷹町協働のまちづくり条例」を制定しました。



▶省エネのために何ができるかを話し合ったワークショップ

省エネルギーは個人の取り組みももちろん重要ですが、家族の協力も必要不可欠ですし、ご近所のかたとコミュニケーションを取りながら、さらには地域単位での取り組みができれば、省エネルギー効果は上がるはずです。

町は旧町村単位の6つの行政地区からなり、区、町内、組と系統的に構成されています。地域で省エネルギーを考える際には、大変有効な単位と考えられます。

こうした町の特徴、そして総合計画などを踏まえ、白鷹町において省エネルギーを進めていくための基本理念と基本

本方針を次のように定めていきます。

★基本理念★

町民が幸せを実感し、いきいきと生活できる住みよいまちづくりのため、町民と町が協働で進める省エネルギー

★基本方針★

- ▼家庭・地域が一体となって省エネルギーに取り組みます。
- ▼未来を担う子どもたちと一緒に省エネルギーに取り組みます。
- ▼行政の率先行動と省エネルギーに取り組む町民を応援します。

◆省エネルギー推進プロジェクト

推進プロジェクト

これまで4回開催した策定委員会では、さまざまな意見が出されました。また、6月下旬から7月上旬にかけ、町内6地区で開催した省エネルギーワークショップ「みんなで考える省エネのつどい」でも多くの意見、アイデアを出していただきました。

それらを整理し、プロジェクト化を図るために、今後も検討を深めていきたいと考えています。現段階における施策の体系と主なプロジェクト

の原案は次のようになります。

省エネルギー推進プロジェクト（原案）

◇プロジェクトA

「家庭・地域が一体となった取り組み」

●プロジェクトA-1

「家庭」

- ・ごみの減量(分別徹底、マイバッグ・マイ食器運動など)
- ・水の有効利用(雨水・生活排水〔風呂の残湯など〕の利用、節水機器の設置)
- ・省エネ製品の購入(エコ商品、省エネ家電製品、ペレットストーブ)

- ・自動車燃料の使用削減(徒歩、自転車・町営バス利用、エコドライブなど)
- ・国等のサポートメニューの活用(※エコファームリーなど)

- ・住宅の省エネ化(太陽光・風力ハイブリッド発電設備、木材を豊富に使った家づくり)
- ・ワンデイ省エネチャレンジ、省エネモニター制度

- ・家族団らんの推進(テレビ等それぞれ見ないで、家族一緒に一部屋にいるなど)

●プロジェクトA-2

「地域」

- ・ごみの減量（堆肥化利用、てんぷら油の石けん化・BDF化【※1】など）
- ・国などのサポートメニュー活用（省エネ共和国、省エネ普及指導員の創出など）
- ・省エネ&環境講座開催
- ・共同炊事場（薪利用で楽しくにぎやかに）
- ・イベント等の活用の普及啓発
- ・省エネイベント

●プロジェクトA-3

「事業所」

- ・しらたかの省エネモデル住宅の検討（建設業）
- ・地域通貨（省エネ券）の活性化（商工会）
- ・ESCO【※2】事業の推進
- ・省エネ意識の高揚（事業所対象の学習会など）
- ・省エネ行動の推進（営業時間・過剰包装の廃止検討、ISO等の推進）
- ・パレス松風（省エネ部屋「割引」、温泉熱・バイオマス燃料の利用）



▶リフォームで生まれ変わった生活用品（環境シンポジウム展示）

◇プロジェクトB

「未来を担う」

「子どもたちの取り組み」

- ・子供から大人へ（学校での

環境&省エネ教育、活動内容の発信）

- ・学校から家庭、地域へ（環境&省エネ情報の発信）
- ・国等のサポートメニューの活用（省エネ共和国、省エネルギー教育推進モデル校制度など）
- ・白鷹町環境教育推進事業の継続

◀東中学校では全校生徒が省エネ運動を実践しています。



◇プロジェクトC

「行政が率先しての取り組み」

- ・学校への省エネルギー教育
- ・公共施設などへの省エネ製品・設備導入（省エネ機器、太陽光・風力発電など）

- ・インセンティブの促進（省エネ実践校への利益還元・表彰など）
- ・省エネ住宅への助成措置（補助金、優遇税制など）
- ・地域通貨（省エネ券）の活性化支援
- ・自動車燃料の使用削減（ノーマイカーデー（徒歩、自転車、バス、相乗り）、エコドライブ等の普及啓発、レンタサイクル、BDF導入サポート）
- ・広報紙の活用（役場の省エネ、ISOの紹介）

なお、ここに掲げたプロジェクトはまだ原案の段階です。皆さまからの意見などお寄せいただき、効果的なものはビジョンに反映させながら、実効性のあるものにしたとと考えていますので、よろしくお願ひします。

ワンデイ・省エネチャレンジ
集計速報

省エネルギービジョン作成にあたって、さまざまなデータの収集や皆さまの意向の把握、また省エネルギーについてPRすることを目的に、“しらたかの省エネ27項目”についてチャレンジいただきました「ワンデイ・省エネチャレンジ」。

10月1日に実施し、その後、各組長・町内長さんのご協力をいただきながら、皆さまの結果を集約させていただいていますが、その集計速報が出ましたのでご報告します。

- 参加いただいた世帯数 1254世帯→全世帯の29.0%の家庭
 - 10月1日に削減できた二酸化炭素の量 5.7トン→山形県の1日に排出する総量の0.02%
 - モニター参加希望者数 205世帯
- ※まもなくモニター調査票を送付させていただきますので協力をお願いします。

問い合わせ
政策改革課政策企画係
担当/湯澤、大木
(☎85-6123)

国民年金

からのお知らせ

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書が

送られていきますか

●全額が控除対象です

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。年末調整や確定申告の際に1年間の納付額を申告することにより税の控除が受けられます。

これまで、国民年金保険料を申告する際は、納付額の証明書類は添付が義務付けられていませんでしたが、平成17年分からは、生命保険料等と同様に証明書類の添付が必要となります。このため、1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された国民年金の被保険者ご本人あてに、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を11月上旬にお送りしました。

●証明内容

1月1日から9月30日までに納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額です。年の途中から国民年金に加入した場合など、10月以降に本年初めて保険料を納付するかたについては、2月上旬に同様の証明書が送付されます。年末調整または確定申告の手続きの際は、必ずこの証明書や領収書を添付してください。

お問い合わせは、証明書に記載されている専用のコールセンターまたは米沢社会保険事務所(☎0238-2214220)までお願いします。

【社会保険料(国民年金保険料)控除証明書】

親展 992-0800 山形県西置賜郡白鷹町大字〇〇 白鷹 太郎 様 お問い合わせ先等	社会保険料(国民年金保険料)控除証明書
	証明日 社会保険庁総務部経理課長 印 納付対象月欄 ※「済」または「見」 で表示します。
	① 納付済 ② 見込額 ③ 合計額

この部分は添付する必要はありません。



★「①納付済」の金額を申告書に記載するかた

→「①納付済」のみに金額が印字されているかたです。

★「③合計額」の金額を申告書に記載するかた

→「③合計額」の欄に金額が印字されているかたです。

(「③合計額」は、「①納付済」と「②見込額」の合計額です。「②見込額」は、証明日時点での納付方法で引き続き年末までに納付された場合の見込額です。)

※下記の場合は「②見込額」が記載されません。

- 平成18年3月分までの保険料を前納されている場合
- 既に他の制度(厚生年金保険等)の被保険者となっている場合
- 保険料の未納期間がある場合など

年金手帳を

大切にしましょう

年金手帳は、初めて国民年金や厚生年金保険に加入したときに交付されます。

かつては、国民年金、厚生年金保険、共済組合とそれぞれの加入制度ごとに付けられていた年金の番号を統一し、平成9年1月からすべての制度に共通して使用できる番号「基礎年金番号」を導入しました。

手帳もオレンジ色からブルーに変わりましたが、オレンジ色の手帳をお持ちのかたもそのまま使えますので、すでに送付されている「基礎年金番号通知書」を貼付して、大切に保管してください。

基礎年金番号は一人にひとつ。一生を通じてあなたの年金を見守ってください。



お忘れなく！

サラリーマンの奥さん 国民年金の届出は事業主へ

厚生年金や共済組合の加入者に扶養されている配偶者を、国民年金の第三号被保険者といえます。

第三号被保険者の保険料は、配偶者が加入している年金制度全体から負担されるので、個人で納める必要はありません。しかし、ご夫婦どちらかが就職したり退職した場合、そのつど届け出が必要になります。届け出をしないと、第

三号被保険者とは認められず、保険料が未納扱いとなり、将来、年金が減額されたり、受けられなくなることがあるのう。で、忘れずに届け出ましょう。



平成17年度『移動年金相談日』のご案内

〈相談日〉

12月27日(火)
平成18年1月25日(水)
2月22日(水)
3月23日(木)

- 受付時間 午前9時30分～11時30分
午後1時～1時30分
- 開始時刻 午前10時～、午後1時～
- 場 所 中央公民館第1・2研修室(2階)
※都合により、館内別室に変更になる場合があります。
- 内 容 年金のことならなんでも
- 主 催 米沢社会保険事務所
(☎0238-22-4220)

国民年金にはこんな魅力があります。

魅力その1

国民年金は、国が責任をもって安全・確実に運営する制度です。しかも、世代間扶養で支え合う仕組みなので、日本の国が存続する限りつぶれることはありません。

魅力その3

年金額の3分の1は国が負担しています。

魅力その4

納めた国民年金保険料は、全額社会保険料控除の対象となります。

魅力その2

国民年金はどんなに長生きしても生涯にわたって受け取ることができますので安心です。

魅力その5

国民年金には、老後の生活を保障する老齢基礎年金だけでなく、病気や事故で障害が残ったときの障害基礎年金や一家の働き手が亡くなったときの遺族基礎年金があります。



国民年金に関するお問い合わせは

町民税務課 戸籍年金係(☎85-6129)まで

平成17年度 白鷹町内主要河川水質調査結果

白鷹町では、平成15年3月に策定した白鷹町環境基本計画に基づき、清らかな水を守る取り組みとして、町内主要11河川について水質検査を実施してきました。

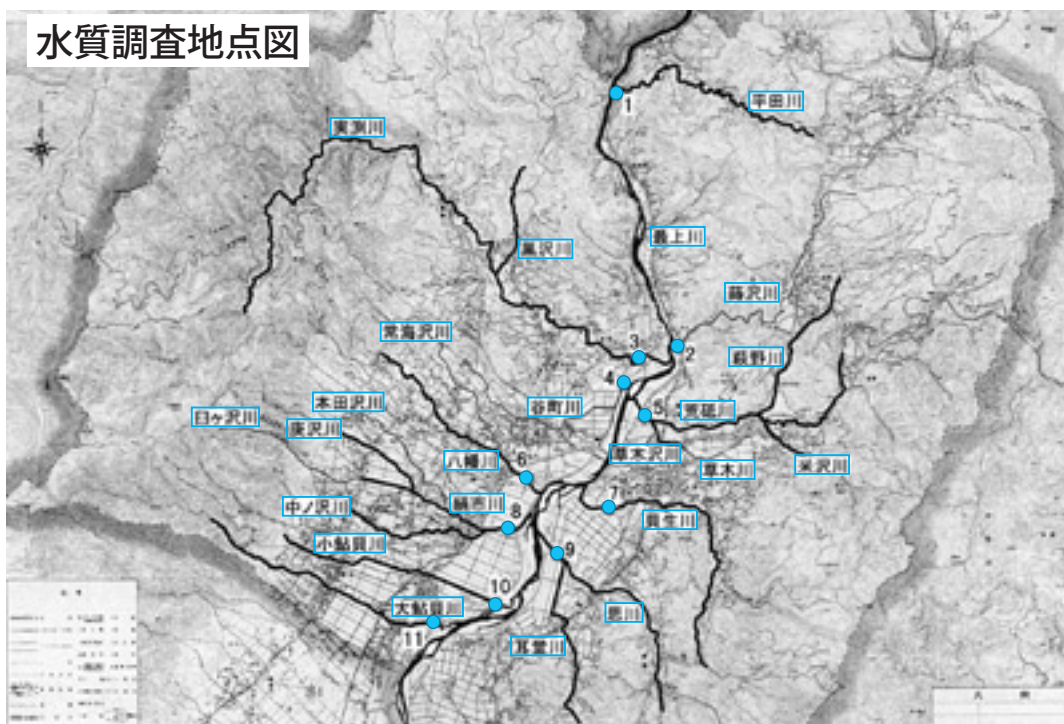
今年度実施した調査結果を公表します。

採取月日 平成17年8月4日

採取場所		時間	天候	気温 ℃	水温 ℃	外観	臭気	透視度	濁度	pH	BOD mg/l	SS mg/l	DO mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml
No. 1	荒砥川	9時02分	晴	30.1	26.8	微黄色 浮遊物+	微土臭	50↑	2.0	7.5	1.8	2.5	8.8	24,000
No. 2	蒔沢川	9時24分	晴	29.8	23.1	微黄色 浮遊物+	微下水臭	50↑	5.7	7.2	2.3	23	7.6	17,000
No. 3	平田川	9時44分	晴	30.0	21.1	無色 浮遊物+	微土臭	50↑	4.7	7.5	1.0	9.6	8.5	9,400
No. 4	実渕川	10時09分	晴	32.1	22.8	無色	微土臭	50↑	1.4	7.5	0.8	2.0	8.6	13,000
No. 5	谷町川	10時20分	晴	32.2	26.4	微褐色 浮遊物+	土臭	10	35	6.8	5.9	58	8.7	≥ 240,000
No. 6	八幡川	10時46分	晴	33.0	25.0	微黄色 浮遊物+	微土臭	50↑	3.0	7.1	1.0	6.3	7.5	7,900
No. 7	中ノ沢川	10時59分	晴	33.0	27.0	微黄色 浮遊物+	微土臭	50↑	2.2	7.2	1.4	4.2	8.5	22,000
No. 8	小鮎貝川	11時11分	晴	33.0	26.5	微黄色 浮遊物+	微土臭	44	3.0	6.7	1.5	5.8	8.0	3,400
No. 9	大鮎貝川	11時25分	晴	33.0	27.5	微黄色 浮遊物+	微土臭	34	5.5	7.3	1.4	21	8.2	17,000
No. 10	思川	11時40分	晴	34.0	28.5	微黄色 浮遊物+	土臭	38	5.4	7.1	2.4	11	8.2	54,000
No. 11	貝生川	11時55分	晴	34.0	31.0	微黄色 浮遊物+	微土臭	50↑	2.4	8.6	1.4	6.4	8.2	14,000
A類型基準										6.5 ~ 8.5	2.0 以下	25 以下	7.5 以上	1000 以下

※ は、環境基準A類型（表1）を超えている項目

水質調査地点図



当該河川については、環境基準の設定はなされていませんが、環境基準のA類型をもとに評価しました。

水素イオン濃度（pH）は、ほぼ基準値以内ですが、わずかに貝生川が弱アルカリ性を示しています。生物化学的酸素要求量（BOD）は、蒔沢川、谷町川、思川を除き、ほぼ基準値以内です。浮遊物質量（SS）についても谷町川を除き基準値以内です。谷町川については、（BOD）（SS）とも基準値を大きく上回っており、原因を究明し対策を講ずる必要があります。溶存酸素量（DO）は全て基準の範囲内でした。大腸菌群数については大幅に基準値を超えていますが、糞便性大腸菌の他に類似する細菌類を全てカウントするため季節、流量及び天候等によって大きく変わる性質があります。県が毎年、年間を通じて測定している最上川上流（糠野目橋）のデータ（表2）を載せましたので比較してご覧ください。

* A類型基準は、ヤマメやイワナが生息でき、川底の石が透き通って見えるような水質の基準を定めているもので、清流と呼べる河川がこれに当たります。

* 浮遊物質量は、ごみ等の浮遊割合を表すもので流量によって大きく変わります。

●表2：最上川上流（糠野目橋）

項目	平成16年度			
	年月	大腸菌群数	糞便性大腸菌群数	流量
最上川上流 (糠野目橋) 観測所	4月中	13,000	2,400	29.06
	4月下	790	200	10.34
	5月上	2,400	1,200	14.57
	5月下	7,900	1,600	16.90
	6月上	13,000	1,300	6.23
	6月下	350,000	1,300	3.64
	7月上	130,000	2,000	1.21
	7月下	240,000	1,400	4.85
	8月上			
	8月下	49,000		12.42
	9月上	540,000	1,300	4.85
	9月下	49,000	550	3.10
	10月上	13,000	820	20.05
	10月下	13,000	1,300	15.71
	11月上	7,000	780	15.14
	11月下	3,300	1,000	9.06
	12月上	240,000	2,200	6.98
	12月下	13,000	500	6.98
	1月上	3,300	2,000	16.90
	1月下	3,300	1,000	10.43
	2月上	7,900	1,800	7.78
	2月下			
	3月上	33,000	3,000	11.90
	3月下	1,300	800	23.47

(山形県調査)

●表1：生活環境の保全に関する環境基準（河川）

類型	水素イオン濃度 pH	生物化学的酸素要求量 BOD mg/l	浮遊物質量 SS mg/l	溶存酸素量 DO mg/l	大腸菌群数 MPN/100ml
AA	6.5～8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下
A	6.5～8.5	2以下	25以下	7.5以上	1000以下
B	6.5～8.5	3以下	25以下	5以上	5000以下
C	6.5～8.5	5以下	50以下	5以上	-
D	6.0～8.5	8以下	100以下	2以上	-
E	6.0～8.5	10以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2以上	-

【用語解説】

※pH：水素イオン濃度指数のことです。酸性、アルカリ性の度合いを示す指数です。7.0が中性で、これより値が小さいと酸性、大きいとアルカリ性を表します。

※SS：浮遊物質量。水中に浮遊する物質の量をいい、数値が大きいほど水質汚濁が著しくなります。水の濁りの原因となり、SSが大きくなると魚類などへの影響が現れるといわれています。

※BOD：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量。河川の汚濁状況を示す代表的な指標で、数値が大きいほど汚濁が進んでいるといえます。

※DO：水中に溶けている酸素量で、きれいな水ほど飽和に近い量が含まれます。一般に魚介類が生活するためには3mg/リットル以上、好気性微生物が活発に活動するためには2mg/リットル以上が必要で、ゼロになると腐敗が始まり悪臭が発生します。

※大腸菌群数：大腸菌とは、乳糖を分解し、酸とガスを形成する好気性又は嫌気性の菌をいいます。大腸菌が水中に存在するということは、人畜のし尿などで汚染されている可能性を示すものです。

問い合わせ
町民税務課 暮らし環境推進係
Tel.85-6131

美しいしらかを未来の子どもたちへ

～わたしたちは清らかな水を守ります～



P パブリック C コメント

「白鷹町文化交流センター整備事業について」のパブリックコメントに、ご意見をお寄せいただきましたので、回答させていただきます。

パブリックコメント意見書（お寄せいただいたご意見・1人）

ご意見

白鷹町が全国に誇れる山村文化を交流の要とするため、各在郷で様々な活動を行っている団体（例：笠松ロマン館、まあ・どんな会、養蚕、畜産、紬、紅花）が文化交流センターに体験サテライト（中継所）をつくり、都会に発信して、フラワー長井線利用の交流客を募れば、歴史的、民族的、資源に触れ、製作した作品を購入したり、白鷹の食を堪能したりしてもらうことが、1カ所で集中してできるようになります。

したがって、当該ホールと併設して、民間の産業振興に寄与するような施設（そば打ち体験が可能で、食堂機能を持たせるなど）をつくることが望めます。それが、さらに数日も滞在したいという要望客を増加させ、民宿や体験ロッジの建設を促すようになり、当町の建設産業など諸産業の大いなる儲けに結びつくはずです。

回答

白鷹町の伝統文化や工芸、また郷土の素材を生かした食のすばらしさなどを、町外に発信していくことは重要なことです。それによって広く町外のかたがたに白鷹の良さを知っていただき、町民にとって誇りとなることが望めます。

ご提案いただきましたサテライト施設が、今回計画している文化交流センターに併設することが最も効果的なのか、また交流プログラムのひとつとして実施していくか、施設計画と運営計画の中で検討させていただきます。

■担当・問い合わせ

政策改革課 政策企画係

☎85-6123（直通）／FAX85-2128

町民税務課よりおしらせ

固定資産税の課税について

― 土地・建物等の評価・課税 ―

家屋

固定資産税は、白鷹町にある土地、家屋、償却資産を毎年1月1日（基準日）現在で評価し、基準日時点の所有者に課税するものです。現在、町民税務課では、平成18年度の課税に向けた作業（土地の現況調査と評価、新增築家屋の調査と評価、償却資産申告の受付）を行っています。

平成17年1月2日から平成18年1月1日までの期間で、次に該当する固定資産を所有するかたは、お手数でもご連絡願います。公平な課税をさせていただきます。公平な課税をさ力よろしくお願ひします。

償却資産

● 家屋（建物）に異動があったとき
＊建物を増改築したり、取り壊した
（8月中に全戸回覧で行った「平成17年分、新築、増築、改築、取り壊し家屋調査」の際にご報告いただいたかたは、今回連絡は不要です。）

土地

● 土地の現況（利用状況）が変わったとき
＊住宅を取り壊して、駐車場や資材置き場、空き地にした

＊山林や原野を造成して、宅地や駐車場、資材置き場にした

＊山林や原野を造成して、宅地や駐車場、資材置き場にした

● 償却資産は、事業用資産の所有者に申告の義務があります。12月に申告書を送付しましたので、それにより1月31日まで申告をお願いいたします。償却資産を平成17年中に新たに取得されたかた、または今までに申告されていなかったかたで、申告書が届かない場合は、ご連絡ください。申告書などを送付します。

■ 連絡先・問い合わせ 町民税務課町税係（☎85-616132／内線 土地537、家屋535、償却資産536）

快適な冬を過ごすために



降雪と低温の被害対策には、

みなさん一人ひとりの力が必要です。

除雪にご協力ください

町では、12月から翌年3月まで除雪作業を行います。今年もスムーズに除雪を行うため、ご協力をお願いします。

●障害物は除去や目印を

道路上に樹木の枝など（高さ4メートル以下のもので）が出ていると除雪できない場合があります。早めに切るか取り除いてください。また、道路の路肩や側溝の上に置いてあるはせ木や肥料・石なども、除雪の妨げになったり除雪車で壊すおそれがありますので早めに取り除いてください。

なお、道路付近の私有地にあるブロックやマンホールなども除雪車で壊すおそれがありますので、除雪前に目印（長さ3メートル以上の棒の先に赤い布などをつける）を立ててください。

●道路に雪を出さないで

道路に雪を出すと交通の妨げになり、交通事故の原因になる恐れがあります。屋根から道路に雪が落ちる場合は、危険ですから、なで止めなどで防止してください。

また、屋根から落とした雪は道路に出さないでください。

●側溝に雪を捨てないで

除雪した雪を側溝に捨てても水温が低く、雪はなかなか溶けません。そのため、捨てた雪が側溝をせき止め、あふれた水が道路に流れたり、さらには住宅の床上まで浸水した例があります。側溝への雪捨ては絶対にやめてください。

なお、流雪溝として整備した側溝がある場合は、少し除雪範囲を広げて、道路に除雪車が残した雪も捨ててください。ようご協力をお願いします。

●道路には駐車しないで

道路への駐車は、除雪作業の支障や交通事故の原因にもなります。特に夜間は絶対に道路に駐車しないでください。なお、町道の除雪実施基準は、道路上の新雪降雪10cmです。拡幅除雪・圧雪ザケ取りなどは、その都度判断して行います。

冬道は天候と同様、その時々折々に変化し大変危険です。十分な時間の余裕と安全運転・通行を心がけましょう。

■問い合わせ 建設水道課土木技術係（☎85-6142）

水道事業からのお知らせ

●積雪のためメーター検針を休みます

1月から4月までは、12月検針（11月の使用水量）の水量で請求させていただきます。5月の検針で清算させていただきます。ただし、冬季間の水量が11月の使用料と大幅に異なることが予想される場合は、建設水道課にご連絡ください。

●水道の冬季間の管理について

気温がマイナス4度以下になると、防寒の不完全な水道管は凍ったり、破裂したりします。毎年、この凍結事故が後をたちません。凍結により水道管が破裂しますと、修理代はもちろん、水道料金も高くなりますので次のことに注意しましょう。

水道管の凍結防止するには、寝る前に「不凍止水栓」を完全に閉めきり、蛇口を開き水抜きしましょう。半閉めの状態だと水が漏れ続ける場合がありますので完全に閉めてください。また、朝使用する場合は完全に開けてください。（半閉め半開きで漏水するケースが多く見られますので要注意。）

●冬季間使用しない施設は閉栓手続きをしましょう

冬季間は、メーター検針を休みますので、漏水の発見、通知のサービスができません。漏水事故の発見が遅れ多額な水道料金が請求されることがないように、冬季間使用しない施設は閉栓手続きをしましょう。閉栓、開栓手数料はそれぞれ1000円（計2000円）必要ですが、閉栓中は基本料金がかりません。

●水道管が破裂したら

メーターボックス内のバルブを閉め、とりあえず水を止めてください。すぐに給水指定工事業者に連絡して修理を依頼してください。ただし、修理代は自己負担となります。

●簡単な漏水の発見方法

家中の蛇口を全部閉めてから、メーターを見てください。銀色のパイロットマークか1リットル針が動いているらどこかで漏水しています。

■問い合わせ 建設水道課水道業務係（☎85-6137）



雪中サッカー子供大会 参加チーム募集

2006年2月5日(日)
東陽の里グラウンド

大会事務局
〒992-0831 白鷹町荒砥甲784番地
白鷹町商工会館内 雪中サッカー実行委員会事務局
☎85-0055 / Fax85-0056
ホームページ：http://www1.shirataka.or.jp/sira-sei

白鷹ニュータウン 残り1区画!

十王地内で分譲しておりま
す「白鷹ニュータウン」も、
おかげさまで残り1区画とな
りました。

◆販売地概要

●土地開発公社所有の
土地を販売します。

◆分譲地概要

●所在地：白鷹町大字十王字
宝前町三5540番地13

●地目：宅地

●区域：都市計画区域内

●学区：町立荒砥小学校、町
立東中学校

●水道：町水道配管済(加入
金は自己負担)

●排水：町公共下水道(受益
者負担金不要)

●ガス：プロパンガス(自己
負担)

●電気：引込線は自己負担

●テレビ：テレビ共同受信シ
ステムに加入(加入金・管理
費あり、衛星放送なし)

●交通：山形市より車で25分、
バスで40分、フラワー長井線
荒砥駅より車で5分

◆区画の面積(価格)

・460・12㎡

(639万5668円)

◆販売地概要

●所在地：白鷹町大字荒砥甲
下横内367番地4、大太白
83番地4(町道道目記員生線、
荒砥小学校東側付近)

●地積：623・13㎡

●地目：宅地(整地の必要あり)

●区域：都市計画区域内

●水道：町水道未配管(加入
金、配管工費は自己負担)

●排水：町公共下水道(受益
者負担金は自己負担)

●販売価格：
901万3250円

*詳細はお問い合わせくださ
い。

●チーム編成

1チーム、スターティング
メンバー6人編成とし、補欠
や交代要員を含め10人までの
チーム構成とします。

●参加資格

小学4年生以上6年生まで。
男女不問。

※代表として引率者(成人)
1人以上を出して登録してく
ださい。

※参加申込書に年齢を記入し
ていないチームは無効としま
す。

●試合方式

予選リーグを行い、各リ
グ1位のチームで決勝トーナ
メントを行います。

予選リーグ：1試合10分間
とし、前半後半やロスタイム
・延長は設定しません。

決勝トーナメント：1試合
10分間とし、勝ち抜きにより
優勝チームを決定します。

※準決勝敗退チーム同士によ
る3位決定戦を行います。

●競技者の用具

服装：動きやすく寒くない
服装。

靴：ゴム長靴のみ。靴底に
金属製滑り止めが付いている
のは使用禁止。

(ゴム長靴はひもなど
で縛ったり、固定してはいけ
ません。)

●参加方法

所定の参加申込書に必要事
項を書いて、郵送かFAXに
て大会事務局にお申し込み
ください。先着順にて 受付し
ます。(なお、電話での申し込
みは受け付けておりません。)

●募集期間

12月15日(木)
～1月13日(金) 午後5時

●参加費

1人1000円
(保険、昼食、飲み物代込)

●表彰及び賞品

優勝・準優勝・3位のチ
ームを表彰します。

●募集チーム数

16チーム

この冬も白鷹町営スキー場が

おもしろい!



白鷹町営スキー場のご案内

毎月第3日曜日は、小学6年生までリフトが無料になります。これは、子どもたちのスキー技術の向上と誘客のためを実施するものです。

スキー場のリフト乗り場で「スキー子どもの日無料パス」を発行しますので、これを利用してご利用ください。

ペアリフトの利用券について

●シーズン券をお求めのかたは、下記の料金と本人の顔写真(縦2.5センチ×横2センチ)を持

参して、中央公民館内教育委員会においでください。(受付

時間：午前8時30分～午後5

時(月曜日午後7時、月曜日

が休日の場合は火曜日午後7

時)、なお、土・日曜日、祝日

は受け付けできません。また、

12月29日(木)～1月3日(火)

はスキー場リフト乗り場で仮

シーズン券(1月4日以降は

本シーズン券との交換が必要

ですので教育委員会においで

ください)を発行します。

●学校の授業、スポーツ少年

団の活動に、シーズン券は使

えません。

●シーズン券は、ほかの人に

貸したり譲ったりできません。

●シーズン券は、ナイターで

も使用できません。

●団体割引を利用する場合は、あらかじめ教育委員会の許可を受けてください。

スキー場の利用について

●ゲレンデや駐車場では、事故防止のためパトロール員や係員の指示に従ってください。

けがや事故のときは、パトロール員や係員に連絡してくだ

さい。

●道路はスキーで滑らないで

ください。

●ポールを利用するときは、

リフト管理人の指示に従って

ください。

●ナイタースキーを児童や生徒が利用するときは、保護者

またはそれに代わる人が同伴

してください。

●ナイタースキーでは、原則

としてポールやコース設定は

できません。

●ごみはお持ち帰りください。

毎月第3日曜日は、
小学生までリフトが
無料になります。

営業時間

12月20日(火)～3月21日(火)

- ・午前9時～午後4時30分(土・日・祝日 午後5時)
 - ・午後5時30分(土・日・祝日 午後5時)～午後9時(ナイター)
- (期間及び営業時間は、積雪状況により変わることがあります。土・日・祝日の日中→ナイターの切り替え時に10～15分程度リフトを停止しますので、ご了承ください。)

問い合わせ

教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)
白鷹スキーセンター(☎87-2456)
白鷹町営スキー場リフト管理棟(☎87-2215)

リフト券		料 金
1回券		150円
回数券	大人(11回券)	1,500円
	小人(11回券)	1,000円
1日券	大人	2,200円
	小人	1,500円
ナイター券	大人	1,200円
	小人	800円
シーズン券	小学生以下	10,000円
	中学生	13,000円
	高校生・大人	20,000円

注) 小人は、小学生以下です。
1回券、回数券及び1日券はナイターで使用できません。
シーズン券はナイター使用を含みます。
リフトに乗車するすべてのお客様よりリフト料金をいただきます。
(幼児・高齢者についても同様です)

コンクール・コンテストの発表

げんき弁当コンクール入賞者

11/13(日)健康まつり

▼部門

親子で作るお弁当

保育園児の部、小学生の部

自分で作るお弁当

高校生の部

▼応募総数 42点

▼書類審査通過数 30点

●最優秀賞

樋口 円・美貴

(小学生の部)

「白鷹野菜たっぷり弁当」

・ごはん、炒り卵、大根のく

き炒め、はんぺん納豆フライ

麩のから揚げ、ほうれん草の

のり巻き、ポテトサラダ、大

根サラダ、うさぎりんご



●優秀賞

迎田沙織 (高校生の部)

「普段着のお弁当」

川部春佳 (高校生の部)

「秋の味覚ヘルシー弁当」

●町健康づくり推進員会長賞

松野ひかり・みき

(保育園児の部)

「秋のおいしいお弁当」

●町地産地消推進協議会長賞

菅桂太郎・亜貴子

(小学生の部)

「秋鮭の親子ごはん弁当」

●地区栄養士会長賞

橋本静夏 (高校生の部)

「鶏肉のレモン漬け弁当」

平成17年度

明るい選挙ポスター入賞者

船山 千帆 (蚕桑小3年)



佐藤 恵美 (蚕桑小6年)



八木 大地 (荒砥小5年)



梅津 亜紀 (東根小6年)



平成17年度 明るい選挙標語入賞者

●最優秀賞

芳賀美乃理 (蚕桑小3年)

「せんきよには ゆめときぼ

うが つまってる」

●優秀賞

鈴木 聡美 (東根小6年)

「この人と 決める役目は

あなたです」

菊地 康紘 (東中1年)

「選挙権 あなたが託す 明

日の日本」

安部 千裕 (西中2年)

「よく考えて あなたの意思

で 投票を」

岩崎 翔太 (東中3年)

「選挙では いつもあなたが

主役です」

●入選

小学校低学年の部

片山 裕介 (蚕桑小3年)

長岡 洋人 (蚕桑小3年)

伊藤 茅春 (蚕桑小3年)

長谷部まりな (蚕桑小3年)

小形 瞭真 (東根小2年)

遠藤 竜平 (東根小3年)

鈴木あいる (荒砥小2年)

小学校高年の部

佐々木大樹 (蚕桑小6年)

児玉 志保 (蚕桑小6年)

沼澤 晃菜 (東根小6年)

中学校2年の部

船山 遥佳 (西中)

横山 実咲 (西中)

斎藤 彩香 (西中)

影澤 夏希 (東中)

菅間 彩菜 (東中)

川井 花枝 (東中)

中村 友紀 (東中)

中学校3年の部

高木 彩 (西中)

小林 果歩 (西中)

佐藤 魁 (西中)

酒井 千雪 (西中)

守谷賢一郎 (東中)

鈴木麻由美 (東中)

向田 麻美 (東中)

中学校1年の部

岩崎 泉 (西中)

横沢 竜二 (西中)

佐藤 真末 (東中)

安達 貴洋 (東中)

塚本 昌志 (東中)

菅原 沙織 (東中)

長岡 大輔 (東中)

地域で子育てを応援しています

—主任児童委員のご紹介—

蚕桑・鮎貝地区担当



影山美佐子主任児童委員

荒砥・東根地区担当



芳賀和子主任児童委員

十王・鷹山地区担当



高谷悦子主任児童委員

子どものことや子育てについて、一人で抱え込んでいませんか。3人の主任児童委員や各地区担当の民生委員・児童委員のかたも、地域で子育て家庭を見守っています。

子どもに関する相談などがありましたら、お気軽にご相談ください。

主任児童委員のかたには、平成17年12月より、乳幼児健診（3カ月・9カ月）にもお手伝いいたします。

地域みんなで子育てを支え合う環境をつくりましょう。

問い合わせ

健康福祉課児童係（☎86-0212）

西置賜地区読書感想文コンクール入賞者

結果	学校名	学年	氏名	題名
特選	荒砥小	5	鈴木 大成	生き物のために
特選	東中	2	八木 美波	自由を求めて
入選	荒砥小	1	笹原 清美	あさがおのひみついっぱい
入選	鮎貝小	3	相馬 孝紀	『そして、カエルはとぶ！』 を読んで
入選	東根小	4	菅間 結衣	『スズメの大研究』からの おどろき
入選	荒砥小	6	吉川友香里	自然環境を守りたい
入選	西中	1	児玉真乃介	『塩狩峠』を読んで
入選	東中	1	黒沼 成美	ラストメッセージ

*特選の作品は、県のコンクールへ出品されます。

中学生の「税についての作文」コンクール入賞者

●東北地区納税貯蓄組合連合会長賞

小川 直也（東中3年）
「税金について」

●山形県納税貯蓄組合連合会長賞

沼澤 優花（東中3年）
「税金について考えること」

●長井税務署長賞

湯澤 未歩（東中3年）
「私達の暮らしと税金」

一人ひとりの省エネで地球を守る 白鷹町環境シンポジウム



11月20日、パワーセンターで、環境シンポジウムが開催されました。地球規模の環境の問題を町民一人ひとりが理解し、まず身近な省エネを考えていこうと開催されました。東北芸術工科大学の三浦秀一助教授が地球環境の現状について講演したあと、環境問題に携わる4人のパネラーが、「なんのためにやるかという共通理解が必要」「協働による取り組みで進む」などと述べ、来場者とともに省エネの必要性を考えました。

地域の持つ個性に誇りを持つことから 白鷹ブランド化セミナー



12月2日、パワーセンターで、白鷹ブランド化セミナーが開催されました。ブランド化による地域づくりを目指すために初めて行われたもので、事業者を中心に約170人が参加しました。講師の谷村智康さんは「的を絞り物語を伝えることが必要。」、志賀秀一さんは「自信を持って相手に伝え、続けることが大切。」などと講演されました。白鷹にあるものをどう表現するかが、ブランド化の課題であることを学びました。

自然の恵み、地域のかたがたにありがとう 「田んぼの学校」収穫感謝祭



11月4日、鮎貝小学校5年生33人が収穫感謝祭を開催しました。これまで5年生は、総合学習の一環として、5月にもち米のヒメノモチ、はえぬきを田植えしたほか、9月には稲刈り、10月に脱穀作業を体験しました。そして、今回は昔ながらの杵と臼で「もちつき」を行い、今まで稲作の指導をしていただいた鮎貝堰土地改良区の皆さんや地域のかたがたに、つきたてのもちが振る舞われました。

子どもの社会力を育てる 大人とは社会とは 白鷹学講座「門脇厚司講演会」



11月7日、パワーセンターで「門脇厚司講演会」が行われました。社会力のある子どもの育成のため、大人が子どもの居場所をつくり、まっとうに付き合うことが必要であることなどを講演いただきました。第2部のYBCの芳賀道也さんとの対談では、付せん紙を例に挙げ、人と人が結びつくための「のりけ」のある子どもをつくるため、進んで子どもに近づくことなど、熱のこもったお話をいただきました。

第47回西置賜地区縦断駅伝競走大会 白鷹町チーム 大会6連覇達成

11月6日(日)

●大会総合成績

第1位 白鷹町 4時間00分13秒

第2位 長井市 4時間04分12秒

第3位 飯豊町 4時間21分58秒

— 小国町

●区間賞

1区 高橋あかね(東根小) 区間新

3区 澤浦将光(荒砥小)

4区 鈴木亮太(東海大山形高)

7区 竹田則幸(荒砥甲)

12区 沼澤伸壽(富士大) 区間新





11月13日、健康福祉センターにおいて、健康まつりが行われました。保育園児たちの歌の発表でにぎやかに始まり、荒砥高校生の禁煙研究、体力チェックコーナーや歯ピカ隊のブラッシング指導などの展示・体験がコーナーが企画されました。げんき弁当コンクールでは、親子や高校生の目にも鮮やかで健康にも配慮した内容の作品が多数展示され、訪れた人たちは口々に「おいしそう」と話していました。

言葉と心がかよひ合う豊かな町を 元気ニコニコ健康まつり



住民のコミュニティ活動を推進するため、自治宝くじの収益金から助成される「コミュニティ助成事業」を活用し、このたび健康運動広場（健康福祉センター東側）について、桜の植え替え、土壌改良、暗きょ排水工事を実施しました。

グラウンドゴルフなどの軽スポーツに幅広く活用されている広場ですが、来春には桜でいっぱいの広場に生まれ変わり、一層の活用が期待できます。

桜でいっぱい健康運動広場に 平成17年度緑化推進コミュニティ助成事業

丸川晃一さん（横田尻）が 農林水産大臣感謝状受賞



丸川さんは、統計調査員として農業経営統計調査に永年従事され、農林水産統計情報の提供に尽力されました。その功績により、このたびの受賞となりました。

中川順一さん（山口）が 西置賜地区納税貯蓄組合 連合会長表彰受賞

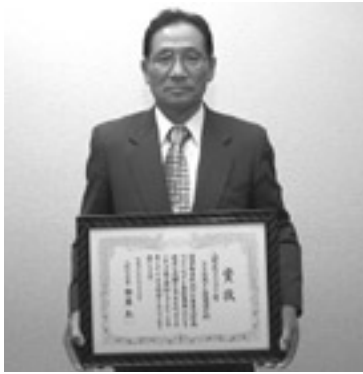


中川さんは、元蚕桑18町内納税貯蓄組合長として、永年にわたり納税意識の高揚に尽力され、納税行政の適正な運営と発展に貢献されました。その功績により、このたびの受賞となりました。

いきいき深山郷づくり推 進協議会が山形県ベスト アグリ賞受賞

この賞は、地域の環境を生き、優れた経営実績を築き、創意工夫に富む技術開発や魅力あるくらしを実践している農業者等を表彰するものです。いきいき深山郷づくり推進協議会は、地区民全員が参加し、地産地消や都市と農村の交流、雇用創出などを積極的に推進することにより、地域の活性化に寄与しています。

どか村」においては、地域農産物を活用した郷土料理を提供するとともに、農産物の直売や地場産大豆味噌の製造、稲刈り体験などを通し、交流拡大と経済効果創出に貢献しています。その功績により、このたびの受賞となりました。



県女子駅伝 白鷹出身選手健闘！

白鷹出身選手健闘！

11月20日（日）、第22回県女子駅伝競走大会が上市市本庄地区公民館から山形市の山新放送会館まで5区間20・6kmのコースで開催され、長井・西置賜チームは総合第5位の成績で見事入賞しました。

白鷹町からは、信夫香織選手（第3区・西中3年）、鈴木麻由美選手（第4区・東中3年）、村上奈央選手（第5区・上山明新館高2年）が出場し、チーム5位入賞の原動力となりました。とくに、第3区の信夫選手は区間第3位の成績を納めました。

白鷹町出身選手の健闘を称えるとともに、選手本人の努力はもとより、選手の育成に對する関係者の皆さまのご尽力、ご家族の皆さまのご理解、ご協力に深く感謝いたします。ありがとうございます。

スポーツ大会の結果

第39回白鷹町剣道大会

11月20日(日)
東中学校体育館

小学男子5年の部

- 1位 板垣 和貴(蚕桑小)
- 2位 五十嵐将 郎(荒砥小)
- 3位 金田 拓海(蚕桑小)
- 3位 丸川 和輝(蚕桑小)

小学男子6年の部

- 1位 新宮 大史(荒砥小)
- 2位 奥山 貴晶(荒砥小)
- 3位 渡部昌太郎(蚕桑小)
- 3位 澤浦 将光(荒砥小)

小学女子3年以下の部

- 1位 渡部 千尋(蚕桑小)
- 2位 金田日菜子(蚕桑小)
- 3位 吉村 佳奈(蚕桑小)
- 3位 児玉 由夏(蚕桑小)

小学女子4年の部

- 1位 松木 雅子(荒砥小)
- 2位 赤間 千春(蚕桑小)
- 3位 新野 愛美(荒砥小)

小学女子5年の部

- 1位 小林 薫(蚕桑小)
- 2位 相馬 祥子(鮎貝小)
- 3位 松岡沙裕海(荒砥小)
- 3位 梅津 智華(荒砥小)

小学女子6年の部

- 1位 児玉佳奈子(蚕桑小)
- 2位 神居 幸恵(鮎貝小)
- 3位 五十嵐安世(蚕桑小)

●個人戦

小学男子3年以下の部

- 1位 長谷部祥太(鮎貝小)
- 2位 相馬 孝紀(鮎貝小)
- 3位 土屋 建二(鮎貝小)
- 3位 関 恭平(鮎貝小)

小学男子4年の部

- 1位 丸川賢太郎(蚕桑小)
- 2位 金田 耕哉(蚕桑小)
- 3位 板垣 稜也(蚕桑小)
- 3位 金田 同(蚕桑小)

中学男子1年の部

- 1位 松木 光寿(東中)
- 2位 岩崎 寛憲(東中)
- 3位 土屋 輝明(西中)
- 3位 松野 勝典(東中)

中学男子2年の部

- 1位 稲葉 陽祐(西中)
- 2位 渡辺 輝(西中)
- 3位 渡部 陽貴(西中)
- 3位 菅原 楽(東中)

中学男子3年の部

- 1位 海老名秀揮(東中)
- 2位 伊藤 綾祐(西中)
- 3位 梅村 歩(東中)
- 3位 海老名拓馬(東中)

中学女子オープン部の部

- 1位 渋谷 瑞貴(東中)
- 2位 海老名彩香(東中)
- 3位 殿岡裕佳子(東中)
- 3位 小林 葵(西中)

高校・一般の部

- 1位 奥山 久
- 2位 竹田 勝成
- 3位 横山 大輔
- 3位 横井 真人

白鷹町バドミントン大会

11月13日(日)
鮎貝小学校体育館

混合ダブルス

- 1位 長谷部紘和(長井工業)
- 小関 千鶴
- 2位 平田 将
- 高橋 美希(長井工業)

男子ダブルス Aクラス

- 1位 鈴木 上太(南陽バド協)
- 竹田 和弘
- 2位 佐藤 孝志(玉ちゃんズ)
- 高野 朋
- 3位 菊地 勝(FC)
- 齋藤 貴文

男子ダブルス Bクラス

- 1位 高橋 英二(レベル)
- 佐藤 福一
- 2位 長岡 浩彰(玉ちゃんズ)
- 大瀧 暁之
- 3位 浅岡 敬雄(南陽バド協)
- 齋藤 雅彦

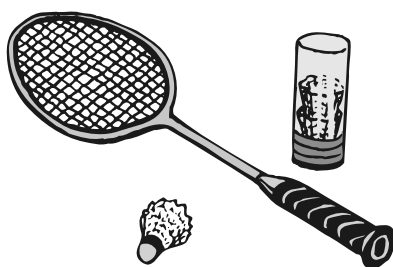
女子ダブルス

- 1位 高橋 美希(長井工業)
- 小関 千鶴
- 2位 勝見 伶香(長井工業)
- 大塚真菜美
- 3位 鈴木千恵美(長井工業)
- 孫田あゆみ

男子ダブルス

- 1位 高橋 英二(レベル)
- 佐藤 福一
- 2位 長岡 浩彰(玉ちゃんズ)
- 大瀧 暁之
- 3位 浅岡 敬雄(南陽バド協)
- 齋藤 雅彦

- 3位 高石 麻実(長井工業)
- 平田 聡美



白鷹版 元気塾 <高齢者編>

寒い冬を健康にいきいきと生活するために、温泉を活用しましょう！

温泉には、心も体もほぐす自然の不思議な力があります。温泉水に含まれる化学成分や森林などの自然環境の総合的な効果によるものです。

山形県健康増進計画「健康文化やまがた21」でも、温泉を活用した健康づくりを進めています。

●なぜ、温泉はいいの？

- ①科学的な効果
 - 塩分が温熱効果を高める
- ②温熱の効用
 - 血行促進と体の柔軟化
- ③自然環境の効用
 - 気分転換でストレス解消
- ④水圧の効用
 - 足のむくみがとれる
- ⑤ふれあい交流の場
 - 出会いの刺激が活力に
- ⑥浮力、水の抵抗の効用
 - 足腰への負担が軽くなる

<白鷹町の温泉>

- ・白鷹温泉（下山地内）—単純硫黄温泉
- ・黒鴨温泉（黒鴨地内）—純重曹泉
- ・鷹野湯温泉（十王地内）
 - ナトリウム塩化物、硫酸塩温泉

<温泉効能表>

- ・硫黄泉—血管を拡張させる作用
- ・重曹泉—湯上りさわやか「冷えの湯」
- ・塩化物泉—湯冷めしにくい「熱の湯」

元気ニコニコ しらたか21

「元気ニコニコ推進会議」 掲示板

今年度の健康まつりに、荒砥高校生の禁煙の研究が紹介されました。胎児、乳幼児の成長に甚大な影響を及ぼすことなど専門の医師から助言を得ながら発表されました。今後さらなる禁煙が進むことを期待します。



元気ニコニコなるほど情報局

..... <かぜの予防>

寒さが一段と厳しくなり、風邪をひきやすい季節になりました。「ただの風邪」なんて油断していると、高齢者や幼児は肺炎などの重症になりかねません。家族みんなで風邪予防をはじめましょう！

【風邪予防その1】

外出時はマスクをして、帰ったらうがい・手洗いを十分にします。
*日本茶でうがいをするとより効果大ですよ。

【風邪予防その2】

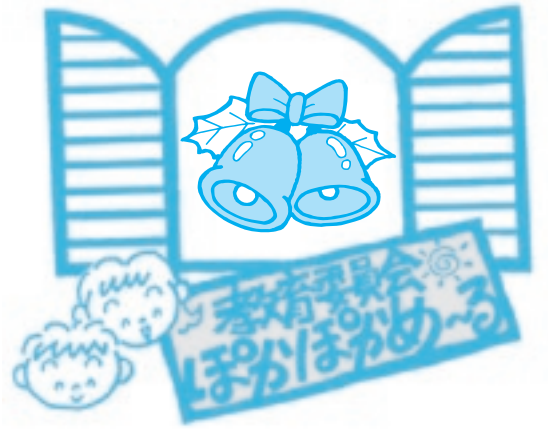
疲れを溜めない、適度な運動を心がける。
*こたつにばかり入らず、一日15分以上は運動しましょう。

【風邪予防その3】

お部屋ものども乾燥しないように湿度調整、水分補給をこまめにする。
*ホットレモンやたまご酒、しょうが湯など、体が温まる飲み物が おすすめです。



風邪予防で心も体もぽっかぽっか！



学校紹介

白鷹町立東根小学校

本校は児童178人が「みんな仲よし 笑顔とやる気でがんばること」を心して過ごしています。

学校は今年で創立80周年を迎えました。今年はその節目の年として、児童一人ひとりが学校の歴史と伝統を感じ、学校を支えてくださっているかたがたに感謝するとともに、自分を見つめ、夢や希望を抱いて活躍していけるよう折おりの場で学んでいます。その一例を紹介します。

◆自分の夢や希望の発表

10月6日、冒険家の大場満郎さんをお迎えし、キャリア

教育の一環として「人としての生き方」を学んだり、「自分の夢」を語り合ったりする授業を行いました。

4年生は総合的な学習として半分成人式に向けて、今の自分のよいところや将来の夢を話し合いました。5年生は道徳「ぼくの天空」という内容でハンデイを持ったかたの生き方を考えました。

大場さんの「地球冒険 生きるってすばらしい」と題した講演では、北極点到達をめざした実体験を通した話に心が引き込まれ、「夢をあきらめない。夢は必ず達成できる。」という心意気と努力に共感しました。

◆学校に感謝「奉仕活動」

10月13日、1年生から6年生で構成した縦割り班で奉仕活動に取り組みました。

学校をきれいにしようとする段気づけのない場所の掃除をしたり、校庭に球根を植えたり、それぞれの班が考えた内容でがんばりました。やり終えた子どもたちの満足した表情に、きれいになった学校が喜んでいるように思えました。

◆創立記念式典と学習発表会

町長さんを始めたくさんのお客様をお招きして、11月3日創立記念式典と学習発表会を行いました。式典では各学年の代表児童が「80周年の記念の年に将来の夢について、自分自身について考えたこと」を発表しました。

続いて行われた学習発表会では、3年生が校歌の歌詞の意味や校歌にまつわる思いを発表したり、4年生は地域の教材「諏訪堰」を劇などにして発表しました。子どもたちの生き生きとした表情にたくさんの拍手をいただきました。



山形県からのお知らせ

国道287号立体交差部の工事が始まりました。

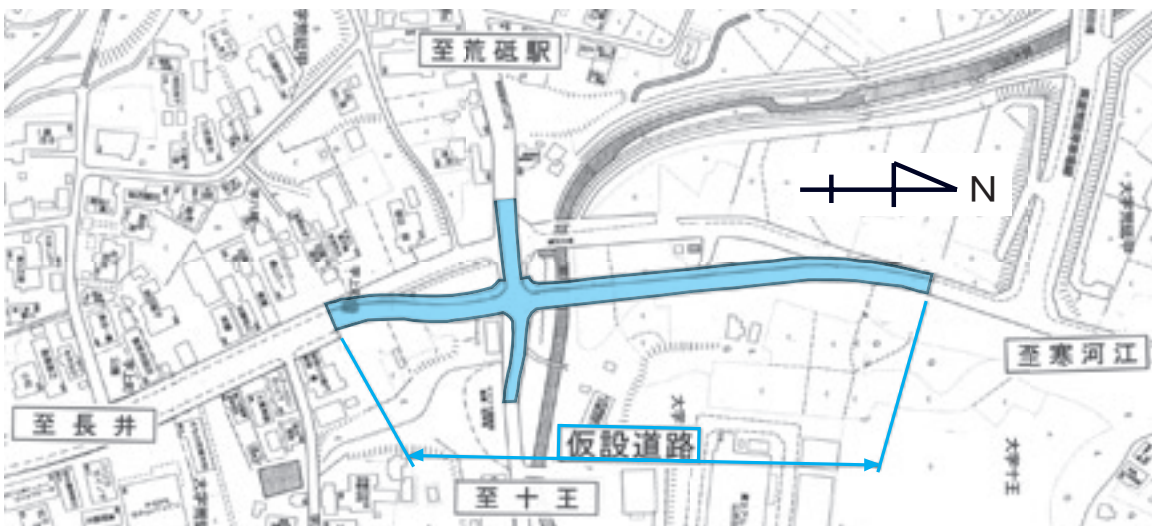
国道287号と町道荒砥駅本宿線の立体交差に伴う工事が始まりました。今年度は、草木沢川と町道をまたぐ橋梁の下部工の工事で、それに先立ち橋梁工事箇所を迂回する仮設道路建設が行われます。来年2月末(予定)からは仮設道路を通行するようになります。

国道工事完成予定の19年度まで切り替えをしながら、仮設道路を通行しての工事となります。ご不便をおかけしますがご協力をお願いします。

■問い合わせ

置賜総合支庁西置賜道路計画課

(☎) 88-51111
内線333



INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



親子でお菓子つくり

クリスマス気分を味わい合
いながら、ワイワイ楽しい時
間を親子でいかがですか。昨
年も大好評でした。

▼いつ 12月23日(金・祝)
午後1時30分～4時

▼どこで ふるさと子ども交
流館(下山)

▼対象 親子10組まで

(幼児から大歓迎)

▼内容

①クリスマスケーキづくり
*自由にデコレーションしま
す。

②絵本の読み聞かせ

▼参加費 1組1500円

▼持ち物 エプロン、ハンド
ミキサー(お持ちのかたのみ)

▼締め切り 12月18日(日)

▼申込・問い合わせ 子ども
交流館・菅原(☎85-566

6)

介護講座のご案内

一般のかたにわかりやすく、
また、介護職のかたにもぜひ
知ってもらいたい内容を集め
ました。

▼日時と内容

①1月11日(水)

午後1時～3時

「介護予防講座 新しくなる
介護保険」

②1月18日(水)

午後1時～3時

「介護予防講座 介護に負け
ない心身作り」(実技あり)

③1月25日(水)

午後1時～3時30分

「高齢者の心とからだの問題
を知る(特別企画)」

▼どこで 山形県介護学習セ
ンター

▼受講対象 現在介護してい るかた、介護に関心のあるか たなど

▼定員 いずれの講座も30人

▼参加費 無料

▼申込方法 講座ごとに、電
話またはファックスにてお申
込ください。

(講座名・名前・住所・電話
番号をお知らせください。)

▼その他 実技実習がある講
座は、動きやすい服装でご参
加ください。

▼申込・問い合わせ 山形県
介護学習センター(☎023

1627-7431/FAX

023-627-7433)

△ご利用時間 土・日・祝日
を除く午前9時～午後5時



平成18年度山形県立産業技 術短期大学校一般入学生・ 専攻科生募集

一般入学生

▼募集人員

メカトロニクス科10人

情報管理システム科15人

情報制御システム科15人

建築環境システム科10人

▼修業年限 2年

▼出願資格 学校教育法によ
る高等学校を卒業したかた

(平成18年3月卒業見込みの
かたを含む)、またはこれと同
等以上の学力を有すると認め
られるかた。

▼試験日 平成18年2月12日(日)

▼出願期間 平成18年1月23

日(月)～2月3日(金)

専攻科生

▼募集人員

産業情報専攻科生

▼修業年限 1年

▼出願資格 在職者または本
学、短期大学、高等専門学校
を修了したかた、またはこれ
と同等以上の教育機関を修了
したかた(平成18年3月修了
見込みのかたを含む)であつ
て、情報技術の積極的な活用
に必要な技術及び知識を習得
できると認められるかた。

▼試験日 平成18年3月7日(火)

▼出願期間 平成18年2月13

日(月)～2月24日(金)

▼問い合わせ 山形県立産業
技術短期大学校入試事務局

(☎023-643-8431)



平成17年工業統計調査にご 協力ください

わが国の製造業の実態を把
握するために、毎年12月31日
現在で工業統計調査を実施し
ています。

本調査の結果は、国や地方
公共団体の行政施策の基礎資
料、企業や大学の研究資料な
どとして広く利用されます。

対象となる事業所には調査員
が訪問しますので、調査への
ご協力をお願いします。

なお、調査票に記入してい
ただいた内容については、統
計法に基づき秘密が厳守され
ます。

▼調査日 平成17年12月31日
現在

▼調査対象 主として製造業
を営む事業所

▼調査方法 調査員調査(調
査員が調査票を配布し、回収
します)

▼問い合わせ 役場総務課情
報企画係(☎85-6121)

**憲法制定60周年記念
民事法律扶助法施行5周年記念**

「無料法律相談」のお知らせ

山形県弁護士会では、財団法人法律扶助協会山形県支部との共催により、無料出張法律相談会を開催します。

白鷹町では、次のとおり実施しますので、直接弁護士とご相談いただく機会をぜひご利用ください。

▼期日 平成18年1月18日(水)

▼時間 午前10時～午後3時

▼場所 中央公民館

▼相談担当弁護士

山形県弁護士会所属

弁護士2人

▼定員 先着16人

*お早めにお申し込みください。

▼締め切り

平成18年1月10日(火)

▼申込方法等

相談を希望されるかたは、電話等であらかじめ申し込んでください。相談時間は、一人につき30分となっていますので、相談内容について要点を整理しておいでください。

■申込・問い合わせ 役場総務課総務係(☎85-6120)

第3次白鷹町行財政改革大綱を策定

自立の町を目指した平成17年度から平成21年度までの第3次行財政改革大綱を最終決定いたしました。詳しくは役場政策改革課、中央公民館、各地区公民館、町ホームページをご覧ください。

また、中間報告のブリックコメントを実施しましたが、町民のかたからのご意見はございませんでした。

■問い合わせ 役場政策改革課(☎85-6124)

平成17年度「NHK海外たすけあい」にご協力ください

世界には、紛争や災害で苦しんでいる人びとや、生活に適さない水、衛生環境など健康に生きるための基本的な条件すら満たされない状況で生活している人びとがいます。日本赤十字社とNHKは共催で国際援助を目的としたキャンペーンを行っています。皆

さまのあたたい善意の義援金をお願いします。

▼期間 12月22日(木)まで

▼受付場所 健康福祉センター

■問い合わせ 健康福祉課福祉係(☎86-0111)

情報センター無料開放日のお知らせ

毎月第4土曜日(午後1時～4時)は白鷹町総合情報センターの無料開放の日です。インターネットが無料で使えます。放題で、どなたでもご利用いただけます。

そのほかの日も、無料で開放する場合がありますので、お問い合わせください。

*パソコン講習会は2月中旬からとなります。

■問い合わせ 白鷹町総合情報センター(☎86-0151)

パソコンボランティア派遣のご案内

障害者のかたの情報バリアフリー推進のため、障害者のかたへパソコンボランティアを派遣して、パソコン利用の支援を行っています。文書作成がうまくいかないと、メールの送り方がわからないときなど、ボランティアが出向

いて丁寧にお教えします。
*詳しくはお問い合わせください。

▼対象 在宅の視覚障害者、聴覚障害者、上肢機能障害者及び障害により外出が困難な身体障害者のかた

■問い合わせ 社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会(☎023-686-3690)

フリーター労働相談110番

▼いつ 12月21日(水)～22日(木) 午前10時～午後7時

▼受付電話

☎0120-378-060
☎023-615-2172

▼相談会場 山形県労働相談センター事務所(山形市)

▼対応者 労働組合役員(県労働相談センター、県労連、各地域労連ほか)

▼対象 フリーターとして働く10代～30代のかた

*派遣、請負、パート、アルバイトなど雇用形態は不問。

▼相談内容 解雇、契約期間途中の解約、賃金未払い、サービス残業、安全衛生問題、職場のいじめ、セクハラなど

■問い合わせ 山形県労働相談センター(☎023-615-2172)

年末の交通安全県民運動

期間 12月22日(木)～31日(土)

●運動の重点

- ①高齢者の交通事故防止
- ②「しっかり止まってはつきり確認」の実践等
冬道の交通事故防止
- ③飲酒運転の徹底追放

●冬道の安全運転5則

- ①スピードは夏場より10km以上減速する。
- ②車間距離は路面乾燥時の2倍以上とする。
- ③急加速、急ブレーキ、急ハンドル等の急激な操作はしない。
- ④視界不良時は前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤危険がいっぱい。追越しはしない。

『平成17年末』

平成17年も残るところあとわずかである。

今朝は雪が舞い、まだまだ積もる気配は感じないが、寒さが強くなってきた。今日は、午前からにかけての白鷹町老人クラブ連合会による22回目となる芸能大会、また食と農の交流施設「どりのむ農園直売所」いちご園開園が行われた。

人生80年の時代、幾多の苦難を乗り越えてこの白鷹町をつくり上げてきた先輩たちの交流と親睦会。今の社会は自由が拡大になった反面、息苦しさやむしろ高いかもしれない。人びとの生活のなかに、おのおのの人びとに合った楽しみと生きがい、そして地域内の常日ごろの交流があつてこそ、現代の社会は健全に成長し、未来に引き継がれていくのではないか。人生を積み重ね積むほど、「努力と感ぜない

努力」が社会をも、個人をもよく向上させていくのではないのか。世界一の長寿の国となつた日本、国として生活や福祉、健康、そして人びとの生きがいを制度をどう構築していくか。それとともに、地域のなかでの安全で安心な、お互いに生きがいを持って過ごせる地域社会を着実に推進していく必要がある。

白鷹町の産直の拠点としての「どりのむ農園直売所」。産声を上げてから約8カ月、過去の蓄積からの今と云える。地域農業はどう活性化できるかを、長い期間を経て試行実行し、今にあるひとつの形である。必ず成長を続けて欲しい。会場には農業者とともに、商工業者のかたも多い。食の分野では今、安全、安心であることはもちろんのこと、いろいろな地域資源、素材に着目して、新たな付加価値づく

りや加工が求められている。そのためには、さまざまな産業分野の協働と知恵の結集が大事である。なお一層の取り組みをお互い進めていく必要がある。

今、日本の株価も上昇のなかにあり、経済の動きも上昇にあるように見えるが、業種間には大きな跛行性があり、とりわけ地方においてはその実感に乏しい。そのようななか、先日、東京・NHKホールで全国町村長大会が開かれ、来賓として出席された小泉首相は、「都市と農村は対立するものではない。お互い発展していかなければならない。湯布院は別府に勝るとも劣らない。地域の個性・特色をいかに発揮していくかだ。」という旨の発言をされた。そして全国町村長大会として「改革の速やかな実現に全力を挙げるとともに、住民一人ひとりが誇りと愛着を持ち、生きがいを実感できる魅力ある町村の実現に向けて邁進する。」旨を宣言したところである。

佳作 寝たきりになりたくないと言ふ万歩計 誕生日返上したい齢になり 人生は辛抱我慢の繰り返し 人生は悲しみに酒 祝い酒 釜の越桜に負けず生きてみる 八十路生き忍の杖持つ笑い皺 蘇生するその日夢見る休耕田 人生ハードル幾つ倒した正念場 年金で趣味と生きてるいい余生 根を張って女が生きてる現在地 照り降りもあつた遙かな人生路 保育器の両手が生を握りしめ 病んで知る生活リズムの有り難さ 命生む母に怖れるものはない 生涯を現役と決め農日誌 長生きの秘訣を聞けば笑うこと 乳房吸う力に通い合う生命 巻き返し効かぬ人生振り返る 今日も又生きた証の汗を拭く 雑学をつなぎ合わせて生き上手 少子化に負けて躓けが生ぬるい 祝い膳 美味みきしめて紅生姜 生活苦じつと掌を見た詩がある 人生は生放送だ 待ったなし 足るを知る只それだけで生きられる ここからは余生ゆつくり楽しもう 二歩三歩譲って老いの生き上手 生命の重さ忘れる世が怖い プラス志向に夢を描いて生きている 生き甲斐に点す灯があり趣味の会 軸 正直に生きた背中を子に見せる

次回課題「直」十二月末日まで 「粉」一月末日まで 一題三句はがきにて届先 白鷹町荒砥乙四九四 菊地 克二まで

橋本光記

「町報川柳」 生		安部 美笑 選	
佳作	寝たきりになりたくないと言ふ万歩計	畔藤	川井千代
〃	誕生日返上したい齢になり	高玉	高橋朝子
〃	人生は辛抱我慢の繰り返し	鮎貝	高橋正
〃	人生は悲しみに酒 祝い酒	浅立	小形義三
〃	釜の越桜に負けず生きてみる	荒砥甲	丸山正志
〃	八十路生き忍の杖持つ笑い皺	荒砥乙	土谷灯一
〃	蘇生するその日夢見る休耕田	荒砥乙	熊坂鷹史
〃	人生ハードル幾つ倒した正念場	荒砥甲	五十公野かをる
〃	年金で趣味と生きてるいい余生	横須賀	大滝健次郎
〃	根を張って女が生きてる現在地	広野	竹田義子
〃	照り降りもあつた遙かな人生路	高岡	長岡みち子
〃	保育器の両手が生を握りしめ	山口	渡部喜美子
〃	病んで知る生活リズムの有り難さ	浅立	高橋とみ
〃	命生む母に怖れるものはない	荒砥乙	高橋白兎
秀逸	生涯を現役と決め農日誌	折居	海老名きち
〃	長生きの秘訣を聞けば笑うこと	十王	志鎌はる糸
〃	乳房吸う力に通い合う生命	浦安市	鈴木美保
〃	巻き返し効かぬ人生振り返る	十王	守谷三郎
〃	今日も又生きた証の汗を拭く	鮎貝	五十公野忍
〃	雑学をつなぎ合わせて生き上手	荒砥乙	梅沢草路
〃	少子化に負けて躓けが生ぬるい	細野	安達昭吾
〃	祝い膳 美味みきしめて紅生姜	鮎貝	横沢直太
〃	生活苦じつと掌を見た詩がある	高玉	片山時美
五客	人生は生放送だ 待ったなし	畔藤	堀内芳夫
〃	足るを知る只それだけで生きられる	世田谷	遠藤八重
〃	ここからは余生ゆつくり楽しもう	鮎貝	土屋文香
〃	二歩三歩譲って老いの生き上手	荒砥甲	横山陽子
〃	生命の重さ忘れる世が怖い	浅立	梅津たつ糸
〃	プラス志向に夢を描いて生きている	畔藤	梅津とも
〃	生き甲斐に点す灯があり趣味の会	畔藤	梅津いと
軸	正直に生きた背中を子に見せる		美笑

つぶやき
つぶやき
よつば保育園



だんなさん

昼食時、保育士のいつもと違う弁当箱に気づき

A子「せんせい、弁当なにしたな？」

保育士「今日忘れてきてだんなさんに届けてもらったな。」

A子「うーん。あっ、うちのお母さんにもだんなさんいるみたいだよ。」

保育士「本当…A子ちゃんにもだんなさんいるの？」

A子「うん！Bくんだよ。」

保育士「いいねー。」

戸籍の窓

●11月1日▶11月30日

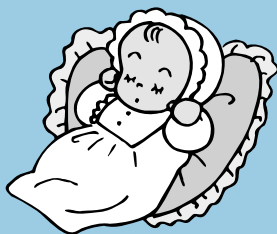
ご結婚おめでとう

お く や み

住所	氏名	年齢
高岡	鈴木 ミヲ	90
畔藤	紺野 梧郎	83
荒砥甲	五十公野 まつ	82
荒砥乙	工藤 浅吉	87
萩野	川部 トキコ	69
荒砥甲	横山 ヤエ子	87
広野	川井 圭の	92
十王	小関 一郎	73
広野	鈴木 あさの	90
十王	五十峯 恒男	68
針生	今野 増雄	80
鮎貝	布川 司郎	85
畔藤	田中 ちゑ	76
高岡	熊坂 みよ	84
荒砥甲	山口 弥太郎	94
畔藤	志田 イク	78
広野	新野 昭一	74
高玉	金田 トシ子	87
荒砥甲	石黒 文雄	80
高玉	五十嵐 利孝	78
畔藤	菅原 うめよ	94
高岡	土屋 久太	79
荒砥甲	紺野 忠伍	83

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
高玉	影山 良彦 早希	煌空
鮎貝	新野 毅彦	まもる 護
横田尻	渡辺 彰美	こころ あ愛
箕和田	齋藤 晃枝	とし隼 や也
浅立	小形 勇人	ゆう き気
十王	木村 強司	あや か香
十王	小関 正利	り理 な那

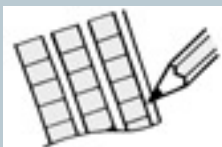


氏名	住所
鈴木 薫	鮎貝
中川 敦子	山口
梅津 正秋	浅立
吉田 幸子	長井市
紺野 秀司	長崎県
鎌上 久美子	荒砥乙
沖田 睦幸	南陽市
澁谷 美由紀	畔藤
大貫 智寛	荒砥乙
武田 千夏	天童市
佐々木 文雄	長井市
金田 久仁子	高玉
小林 賢作	横田尻
佐藤 愛子	飯豊町
松下 貴洋	荒砥甲
竹田 美幸	中山
小林 俊之	十王
安部 真理子	河北町
梅津 一紀	浅立
齋藤 美幸	畔藤
設楽 修平	米沢市
阿部 良重	高玉
高橋 純一	浅立
佐藤 愛美	山形市



▼初雪が降り、木に残った柿も白い帽子をかぶりました。今年も冬が白鷹を包み始めました。
▼最近ものものしい事件が続発しています。子どもの誘拐・殺害、天然記念物の窃盗、振り込め詐欺・・・人間関係が希薄になっっている社会のなかで、相手を思いやり、もし自分がそうなら置き換えを立場で見ることができなくなっているのかも知れません。悲しいことです。
▼師走、年忘れ。なにかと忙しく、あわただしい時期です。「忙」と「忘」は心を亡くすと書きますが、最小限の人の心は亡くすることなく、そして、快く新年を迎えたいものです。

(つめこ)



SELF JUDGE

編集後記

広報しらたかは再生紙を使用しています。